

## 警 察 署 協 議 会 会 議 録

小倉南警察署協議会

開催年月日時	令和7年1月29日 午後4時30分 から 令和7年1月29日 午後5時45分 までの間	
開催場所	小倉南警察署 3階 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下13名
	警察署	署長、副署長、地域管理官、刑事管理官、総務課長、留置管理課長、会計課長、生活安全課長、警察署付、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、地域第三課長
議 事 概 要		
<p><b>【会長挨拶（要旨）】</b>                  令和6年度第4回の小倉南警察署協議会に御出席いただき、感謝申し上げます。                  昨年末に発生した殺傷事件では、迅速な犯人逮捕につき小倉南警察署の皆様をはじめ、県警察全体の取組に感謝申し上げます。                  しかしながら、地域住民に生じた不安感が完全に解消されたとは言い難く、改めて地域住民と警察との連携の必要性を感じた。                  また、今回をもって会長職を退任する私のほか、最後の参加となる方もおられることから、警察署からの報告に対し、委員の皆様から多くのご意見を聞かせていただき、活発な協議会としたい。</p> <p><b>【署長挨拶（要旨）】</b>                  今回は今年度最後の協議会となるため、まずは、令和6年中の小倉南警察署治安概況等について説明する。                  その後、先月発生した中学生被害の殺人等事件に関する警察の取組について説明申し上げます。                  この事件は、地域住民の皆様には大きな不安と恐怖を与えた事件であることや、突然未来を奪われた被害者と、ご遺族の悲しみを考えると、被疑者の検挙をもって一件落着とはとても言えないものであると考えている。                  今後、事件の全容解明を進めつつ、それを踏まえて、同種の事件を防ぐためにはどのような対策が必要なのか、関係機関・団体の皆様方と連携しながら検討を進めて行きたいと考えている。                  今後の検討に当たっては、協議会委員の皆様によるご意見も大切にしたいと思っているので、是非とも忌憚のない意見をいただきたい。</p>		

## 議 事 概 要

### 【報告事項等】

- 1 令和6年小倉南警察署治安概況（刑事第一課長、交通課長）
- 2 令和6年の回顧と令和7年の展望（生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、地域第三課長）
- 3 中学生被害の殺人等事件について（刑事管理官）

### 【質疑応答・意見要望】

- 中学生被害の殺人等事件について  
委員から「まずは犯人の迅速な逮捕や通学路等の警戒活動等、警察の取組に感謝申し上げます。この事件では、学校に行くことができない子どもが多数見受けられたなど地域住民の不安がとでも大きなものであった。その一方、SNSでデマが拡散されたことや、インタビューを受ける市民がデマを前提に話をしていることが悲しく、気味が悪い現象が起こった。こうして協議会に参加する我々が、地域に対してデマではない正確な情報を広め、住民の安心感の醸成に努めておくことも必要ではないか。」との意見が寄せられた。
- 警察と行政機関等との連携について  
委員から「今後、警察と行政機関等との間で防犯について検討が進められると思うが、他者を偏見の目で見ると風潮になると、それもまた問題が生じるおそれがあるため、慎重にお願いしたい。」との意見が寄せられた。
- 犯罪認知件数について  
委員から「犯罪の統計上、検挙件数というのは検挙した事件の数か、検挙した犯人の数か、どちらであろうか。」との質問があった。  
刑事第二課長から「検挙件数は、検挙した人数ではなく、検挙した事件の数である。」との回答があった。

